

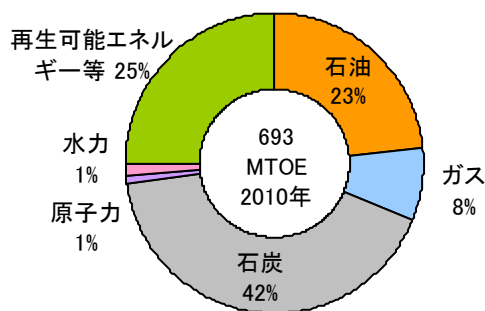
1-5 インド

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 693 百万 TOE (日本の 1.51 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 0.59TOE (日本の 16%)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 75%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 1,625.8 CO₂ 換算百万 ton (日本の 1.42 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量(2010年) : 1.39 CO₂ 換算百万 ton(日本の 15.5%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 18.2 年、天然ガス 26.9 年、石炭 103 年

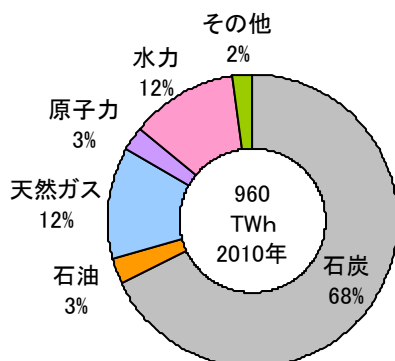
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: India

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: India

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 中央政府には、エネルギー政策の策定・実施機関である計画委員会（PC：Planning Committee）の他、エネルギー部門ごとに管轄する5省庁（石油・天然ガス省、石炭省、電力省、新エネルギー省、原子力庁）が編成されている。
- 州政府には、電力および新エネルギー分野での政策立案・実施の権利が付されている。

(2) 基本政策

- 2012年度から2016年度を対象とする第12次5ヵ年計画におけるエネルギー政策の主要な課題は、①省エネルギーの推進、②エネルギー価格の合理化、③国内での石油・ガス開発の促進、④電力供給の確保、⑤発電用石炭供給の確保、⑥再生可能エネルギーの利用拡大の6項目。

(3) 最近の動向

- インドはイランから原油を輸入しているが、米国のイランに対する制裁措置の影響を受けている。2012年5月にClinton米 국무長官が訪印するなどアメリカの強い説得を受け、イラン原油の輸入量削減を余儀なくされた。イランからの原油輸入量が減少したことを受け、アメリカは同年6月11日に、インドを制裁の対象から除外することを発表した。
- 2012年7月に、2度に渡って大規模な停電が発生。第1回目は30日深夜に発生し、需給調整に失敗（供給過剰）して系統の周波数が高くなり、発電機が連鎖的に自動停止したことが原因と指摘されている。第2回目は31日の午後1時に発生し、復旧は翌8月1日の9時30分まで待たなければならなかった。北部、東部および北東部の3系統から電力供給を受ける北部19州、約6億人が影響を受けた。原因は特定されていないが、送電設備の故障や一部の州の過剰な電力消費が理由として挙げられている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2010年6月、日本とインドは、原子力協定締結交渉を開始した。原子力協定の締結に向け今後の取り進め方や協定の内容に関する協議を行う。
- 2011年8月、日印包括的経済連係協定が発効した。貿易の自由化・円滑化、投資の促進、関連分野の制度整備等について定めるもので、この協定が発効によって日印間の経済関係の一層の強化が期待されている。日本にとって12番目の経済連携協定。
- 2012年4月30日に開催された日印閣僚会議において、省エネルギーなどエネルギー分野での協力拡大や、インディアン・レアアースと豊田通商による年間約4,000トンのレアアース輸出について合意した。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	693 MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.59 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.56 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	75 %
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	1,625.8 百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	1.39 CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	42 %
	石油	23 %
	ガス	8 %
	原子力	1 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	25 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	25 %
(9)	石油の輸入依存度	74 %
(10)	輸入原油の中東依存度	63.3 %
(11)	原油輸入先	
	第1位	サウジアラビア
	第2位	ナイジェリア
	第3位	イラン

(出所) : (1)~(4) および (7)~(9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

(5)~(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012

(10)~(11) は Ministry of Commerce & Industry 貿易統計